

2010年(平成22年)12月23日(木曜日)

# ハイチ医療支援 「コレラ対策を」

AMDA代表

10月からコレラが流行しているカリブ海の島国ハイチで緊急医療支援を行っている国際医療NGO「AMDA(アムダ)」(本部・岡山市)の菅波茂代表らが22日、記者会見を開き、現地の状況や活動内容を報告した。

菅波代表ら4人は12月1日に日本を出発。現地のメンバーらと合流し、計9人で治療や感染予防の指導にあたった。菅波代表は、医療従事者を始め国民のコレラに対する知識が乏しいことから、患者を隔離するなど感染拡大防止に必要な対策がとられていない現状を報告。また、病院に行かずに脱水症状で死亡するケースも多いことも挙げ、「一番必要なのは、コレラを専門で治療するセンターの設立と、病気への予防教育」と述べた。長期的な医療活動ができるよう、ハイチ支部の設立を早期に目指す意向も示した。

現地では、現在も2人が活動を続けているが、来年1月で終了する。